

今、日本中で地震や台風、大雨などの自然災害が頻発しています。昨年は、能登半島で大きな災害が起り、台風や豪雨による被害も多く報告されています。このような災害が起る中で、保育園、こども園で子どもたちが安全で安心して過ごせるにはどのような環境を確保すればよいかが課題となっています。

私たちの園は、平成三十年七月に西日本豪雨災害を経験したことを学びました。当時真備かなりや保育園（真備かなりや認定こども園）と隣接している同一法人の小規模保育園二園には、約二百人の子どもたちが在席し、職員数は五十名でした。何日も雨が降り続き、大雨が鍵穴に入っていたため鍵が上手くさせず、苦勞してやっと戸を開けて園舎に入っても、廊下には大

きなタンクスや下駄箱、外れた戸が倒れていました。事務所の中も悲惨な状態でした。大切な書類やパソコンも泥水に浸かり使用できない状態でした。ひっくり返った机の下から奇跡的に見つけた泥だらけの連絡網を洗い、保護者と連絡をしました。約七割の子どもたちと二割の職員が被災しており、避難所や親せきの家などに避難していましたが、園児や職員も全員無事が確認できました。被災した園の片付けに関しては、他の地区の保育園関係者の方々、ボランティアの方々がお手伝いに来てくださり、数か月はかかると思っていた片付けも数週間で終わることができました。本当に感謝してもしきれません。また、全国からの温かい支援は私たちにとても心を支える大きな力となりました。

私たちは、西日本豪雨の経験をもとに災害対策に取り組んでいます。災害時にスムーズに保護者の方へ子どもたちを引き渡せるように引き渡し

カードの作成やアプリの導入、災害伝言ダイヤルの活用など災害発生時の情報や対応についてみんなで共有をしています。また台風や大雨などで川が氾濫する予想ができるものは事前に保護者に知らせ自宅待機に協力してもらい、園にいる子どもたちを最

小限にするなど災害等の対応について、話し合いを重ねています。なじみのない代替え保育に一日も早く元の園に戻りたいと願う保護者や園に保護者の思い、真備の地で園が復旧再開し、温かい給食を食べたときの喜び、当たり前のように過ごしてきた園生活、季節ごとにできていた行事のありがたを改めて思い返すことのできた貴重な体験でした。この体験は決して無駄にはできません。

自然災害はいろいろな形でやってきます。マニュアルを作るだけではなく、それを使って実践することこそ初めて生かされたことになると感じました。日頃から地域の方との信頼関係を築き、小さな命、そして子供たちの未来のために私たちができることは何か日々考えて過かしてしています。



公益社団法人倉敷市民間保育所協議会 副会長 狩山 亜由美

子どもたちを守る立場から被災を通して感じたこと



岡野田鶴子先生 瑞宝双光章 受章

この度、令和六年秋の叙勲におかれまして社会福祉法人秋穂福祉会清心保育園（倉敷市上富井）理事長・園長岡野田鶴子先生が、「瑞宝双光章」の栄に浴されました。心からお慶び申し上げます。岡野先生は、昭和五十三年四月、清心保育園開園と同時に副園長として勤務後、昭和五十八年四月園長に就任され、現在までの長きにわたり、何時も大切な子どもたちの幸せを願う乳幼児保育の道一筋に進んでこられました。また、平成二十三年九月からは社会福祉法人秋穂福祉会理事長に就任し、法人の適正な管理運営にも取り組んでおられます。子どもが大好きで、倉敷市の子どもたち皆の母になりたいという強い思いを抱かれ、初代理事長岡野秋男先生（ご実父様）、主任保育士として保育の要となられたご実妹様、家族の絆は深く三人

で共に手を携えられ、勇往邁進、現在の清心保育園の礎を築き上げられました。さらに、平成五年四月には、倉敷市の放課後児童健全育成事業を引き受け、「倉敷市清心子どもの家児童育成クラブ」を開設、保育園卒園児も多く集う場となり、温かい眼差しで子どもたちの成長を見守り続けておられます。

私共、公益社団法人倉敷市民間保育所協議会では、通算七期十四年理事に就任され、そのうち二期四年は副会長として、事業委員会・制度委員会を取りまとめ、会長の補佐役を懸命に果たし、会の円滑な運営にご尽力をくださいました。また、国際民間ボランティア団体「パイロットクラブ」（倉敷パイロットクラブ）に平成八年四月発足時から所属され、閉鎖されるまでの約十二年間、理事として、地域に根差したボランティア活動にも積極的に取り組んでこられました。どうぞいつまでもお元気に、ご活躍くださいと共

に、私共保育関係者に「指導をいただいたたくお願い申し上げます。



乳幼児の防災グッズチェックリスト



倉敷市防災危機管理室 QRコード



check

備蓄しておく便利なもの

- ☐ 油性マジック
- ☐ くつ下・くつ
- ☐ 防寒着
- ☐ カイロ



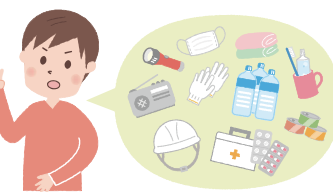
（ミルクや離乳食を温める。哺乳瓶をカイロとタオルでくるむ）

- ☐ ビニール手袋
- ☐ レジャーシート
- ☐ 紙コップ・紙皿・ラップ



（食器の上に敷いたり、止血や包帯の代用）

- ☐ 医薬品
- ☐ ベビー毛布・バスタオル
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ 食べ慣れたおかし
- ☐ 水（めやす3ℓ/日/1人）
- ☐ 離乳食
- ☐ その他（各自必要なもの）

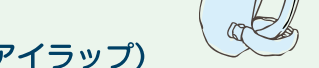
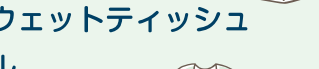


マザーズBagに入るとOK!!

*普段の外出にも



- ☐ 親子手帳・保険証
- ☐ ミルク
- ☐ 哺乳瓶・マグ・ベビースプーン
- ☐ 紙おむつ
- ☐ おしりふき
- ☐ ガーゼ
- ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ
- ☐ フェイスタオル
- ☐ 着替え
- ☐ おんぶひも・だっこひも
- ☐ おもちゃ
- ☐ ビニール袋（イラップ）



Point! 熱に強く調理もできちゃう
*アイラップの活用!!
SNSでもレシピ本もあります。

※使用期限・賞味期限の確認を年に1度はしましょうね。

ちまた

我が園の子ども達には、大好きな人と場所があります。地域を散歩する途中のちやうど真ん中あたりにある一軒の魚屋さんです。子ども達は、彼のことを地域のお年寄りと同じように「魚屋のせつちゃん」と呼んでいます。散歩の途中立ち寄り、魚屋さんにある縁台に座り、楽しそうに話をします。せつちゃんには、決まって子どもたちの話を傾け「そうか、そうか」と話を聞いてくれます。子ども達が疑問に思ったこと、魚のことについては実物のものを見せ丁寧に教えてくれます。だれよりも一人一人のことをよく知っていて、必ず、子どもの名前を呼んでくれます。保育士も子どももこの時間を楽しみに。体と心に元気をもらい楽しい時間を過ごしています。

ある日、卒園した学区外から来た一人の女の子が親戚宅に来て「友達に会ってくる。」と元気に駆け出し、だれに会いに行くのかとついていくと魚屋まで行き、「せつちゃん、きたよ」と呼びかけ、出てきたせつちゃんと笑顔いっぱい話をする姿を見て、同級生かと思ったら80歳の友達かと親戚一同笑ってしまったということがあったそうです。また、魚屋さんは小学校の登校班集合場所になっておりいつも見守って頂いています。寒い冬には焚火をし、遅れてきた子には「今行ったところじゃから間に合うぞ」と、早く行けとは言わず子どもに期待を持たせてくれます。子どもの小さな変化にすぐ気づき言葉かけてくださる姿に、温かさを感じ、子ども達は自分を見守ってくれ認めてくれている周りの大人は裏切らないのだと改めて感じる事ができました。

保育士も、いつも否定せず子どもの話に耳を傾け一人一人を大切に接して下さるせつちゃんから学ぶところが多くあります。我が園も子ども達にとって魚屋さんのような温かい安心できる場所でありたいと思います。



「性教育はまだ早い」「うちには必要ない」それって本当？

就学前の子どもたちにも、性についての疑問や好奇心がたくさん芽生えてきます。
わたしたち大人が、いつ、どうやってその子どもの気持ちに向かいあってあげたら良いのでしょうか？
親子で学ぶ「0歳からの性教育」の講師として活動する“ちっぴい先生”にその疑問を尋ねてみました！

赤ちゃんはどうやってできるの？

お友達プライベートゾーンを触る、見る

ちんちん！おしり！おっぱい！

もしかして写真撮られたかも？！

外出先での子どもだけのトイレ

これは女の子（男の子）の色だよ！

どうして男の子にだけちんちんがあるの？

いつまで一緒に風呂に入ろう？

お母さんのお尻から血が出るのなんで？

性教育アドバイザー
ちっぴい先生
(鳥越 千裕)



倉敷市民間保育所アンケート
保育園の先生に聞く、性教育の講師に聞きたいこと TOP3

1位 さすがにまだ早すぎでは？本当に教えて大丈夫？早くから伝えて変に興味は持たない？

自分の心と体に興味を持つこと、知りたいと思うことはとても自然なこと。自分の体のことを知るのに早すぎるなんてことはありません😊問題なのは、教えてもらいたい時に教えてもらえず、その結果、ネットやお友だちや上級生から正しくない情報が中途半端に伝わること。子どもたちが「知りたい」と思った時に学べる環境を作ったり、正しい知識を得るお手伝いをすることが私達大

人の役目だと思っています💡体のしくみを科学的&ポジティブに伝えるとものすごく素直に吸収してくれます！変に興味を持つのではなく、純粋な興味として自分や相手を大切にスキルを身につけてくれます。興味を持つことに羞恥心や罪悪感を持つことなく、ありのままの自分を大切にしながら成長していけると嬉しいです。

2位 プライベートゾーンを見せたり、お友達や先生のを見たりする時どうしたらいい？

子どもたちがよく「ちんちん」「おっぱい」などの名称を言う、他者の体が気になる、おもしろがっているということは「興味がある」ということ。興味があるということは性教育のチャンスです☆大切なのは「子どもだから」「このくらい大したことない」で終わらせないこと。子どもであっても、他者を傷つけるおそれのあることはきちんと伝えることで、被害者にも加害者にもならない

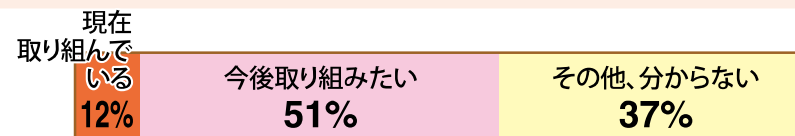
ライフスキルに繋がります。もちろん、1度で習慣化されるわけではありません。右ページのお約束や絵本を参考にしながら、繰り返し伝えてみてください。いつも一緒に過ごすクラスのお友だちと共通認識にしておく、お互いに大切なことを守れるので、園での取り組みもおすすすめです。

3位 自慰行為やっぱり気になる…どうしたらいい？

自分の心と体に興味を持つこと同様、気持ちいいと思うこともとても自然な気持ちです。自分の体で触れてはいけないところはありません。ただし、大切なプライベートゾーンなので守ってほしいお約束があります。(右ページ参照) お約束が守れていない時は、怒らず優しく確認してあげてください。家の中のどこならOKなのか、具体的に伝えてあげるとわかりやすいです。

頻繁に触っている時は、性器に炎症などのトラブルが起こっている可能性もあるので確認をしてあげてください。また、私達の「気持ちいい＝いやらしい」という認識も少しずつ変わっていくといいなと思います。上記のことが大前提で、その上で遊びやおやつなど気分がそちらに向くものに誘導してあげることもOKです。

倉敷市民間保育所アンケート 保育園での性教育の取り組みは？



現在取り組んでいる園での実施後の感想を聞いてみました



- 園児 『体のことを知ってすごく楽しい！気になってたことを教えてもらえて嬉しかった！』
- 職員 『職員にも園児にも変化がみえ、継続の効果・必要性を感じている。』
- 保護者 『「まだ早すぎるのでは？」と思っていたが、子どもたちの反応を見て、きちんと伝えていきたい、伝えなければ、と感じた。』

ちっぴい先生が 我が家で性教育をしていて良かったと思ったことBEST3

- 1 むやみに他者を傷つけることはしないという絶対の信頼感
- 2 性の質問がこわくない
- 3 不審者対応ができた (実は登下校中などで3回も不審者に会っています)

確実に自分を守る力になっています

性教育を知ってみようと思う大人のかたや子どもたちへのメッセージ

お母さん、お父さん、先生たちへ

性教育は子どもたちが幸せに生きていくための、とっておきのプレゼントです。

性教育は、誰もが自分らしく幸せに生きていくために欠かせない大切な学びです。被害者にも加害者にもならないための知識のお守りや、お互いを大切にするためのライフスキルにもなります。「あなたのことが大好き」「ありのままのあなたが大切」「生まれてきてくれてありがとう」子どもたちにたくさんの愛を渡せる「最高のプレゼント」なのです。からだってすごい！自分って素敵！といった気持ちをたくさん感じて欲しいと思います。性教育の時間が皆さんにとって、日々の幸せを感じる時間になればと願っています。



※うそをついたり怒ると、体の質問をすることや、性のことを相談できる関係性を築くことが、難しくなることも。

- 性のおはなしのポイント
- ①事実をポジティブに伝えよう
 - ②うそをつかない、ごまかさない
 - ③怒らない

子どもたちへ

● しっていると、じぶんのこともまわりのひとのこともたいせつにできるよ ●

まずはプライベートゾーンについて知ってみよう！



プライベートゾーンってどこ？

こたえは「くち、むね、おしり、せいき」だよ。

いのちにつながる
じぶんだけのたいせつなところなんだ。

みずぎゾーンともいうよ。
「くちと、みずぎでかくれるところ」とおぼえるとわかりやすいね。

からだのことはえほんやイラストをつかってべんきょうしようね！おともだちやかぞくのからだをつかってべんきょうはしないよ！

● とってもたいせつなからだには、げんきでいるためのおやくそくがあるよ ●



プライベートゾーンのおやくそく

- ①みせない
- ②さわせない
- ③(ほかのひとのを)みない
- ④(ほかのひとのを)さわらない
- ⑤おそとでいわない



じぶんのからだをみるとき・さわるときのおやくそく

- ①だれもないところで
- ②きれいなてで
- ③やさしくさわろう
- ④ちんちんのかわはもどそう

じぶんのからだはみたりさわっておつけー😊

● こまったときには ●



のーごーてる
NO・GO・TELL



「NO」 いや！とっていいよ
「GO」 そのばしょからはなれよう、にげよう
「TELL」 すぐにたすけてくれるおとなにおはなししよう

TELL! おとなにはなす

おすすめの絵本

『だいい だいい どーこだ?』
作：遠見才希子
絵：川原瑞丸
出版元：大泉書店

小さな子にもわかりやすい
プライベートゾーンの絵本。
「自分のカラダってだいい」が合言葉に！

『はじめにきてね、こちょこちょモンキー!』
作：ジュリエット・クレア・ペル
絵：アビゲイル・トンプキンズ
訳：上田勢子・堀切リエ
出版元：子どもの未来社

自分の体の権利は自分にあるように、相手の体の権利は相手にある。
「お互いに尊重し、同意を得ること」
小さな頃から大切にできるととっても素敵です。

『ぼうはん クイズえほん』
監修：国崎信江
絵：ドーリー
出版元：日本図書センター

特に年長さんにおすすめ！
クイズをしながら自分を守る力をゲット！
家庭でのお約束もお話してみてください。



<講師紹介>
ちっぴい先生
デジーライフ代表 鳥越 千裕
看護師・看取り士・性教育アドバイザー

いのちについて身近に感じるきっかけ作りをしています。
しあわせな最後のために、子どもたちの安心安全で自由な未来のために、「親子で学ぶ性教育」「学校・園での性教育」「職員向け性教育研修会」「保護者向け性教育講演会」「すぐに役立つ防犯講座」などを行っています。

お問い合わせは
ホームページから

